

予算を活用し、3月補正予算で計上した地域住民生活等緊急支援のための交付金事業については、新年度予算と併せた一体的な事業として進めていきます。

一般会計

一般会計予算額は、74億2597万6千円で、対前年度9・8%の増となりました。

歳入における町税、地方譲与税、地方消費税交付金、地方交付税等を合わせた経常一般財源は、49億514万1千円で、対前年度3・3%の減であり、町税、普通交付税の減が主な要因となりました。

歳出における人件費、扶助費、公債費の義務的経費は、対前年度2・1%の減となりました。

投資的経費のうち普通建設事業は、対前年度104・5%増の8億3777万9千円で、主な内訳は、防災行政無線デジタル化整備事業、虻田漁港大磯分区分整備事業、海岸通整備事業、洞爺2号線歩道新設事業、虻田中学校耐震化事業、高砂貝塚保存整備事業などを計上しました。ソフト面においては、子育て支援対策として、中学生以下の

医療費を無料化にする乳幼児等医療費助成事業を新たに実施するほか、昨年度から本町地区で実施しております「一時預かり保育」を子育て支援センターとの連携により、平成27年度からは、洞爺湖温泉地区、洞爺地区においても拡大して実施いたします。

産業振興策としては、エゾシカ等有害鳥獣の被害対策、農業の6次産業化に向けた検証、自然環境に対して負荷の少ない生分解性マルチ普及拡大事業やウニ二種苗放流事業に対する補助など農林水産業の振興施策に加え、ふるさと納税を活用した地域特産品のPRや販路拡大による商工振興の推進に向けた取組みにも支援を行います。

また、観光振興策については、引き続き観光関係団体、観光事業者、町民、行政が協働のうえ、おもてなしの心が満ちた洞爺湖町を実現するため各種事業、イベント開催によるまちづくりや対しても積極的に支援を行うほか、旅客誘致対策の強化、洞爺湖有珠山ジオパークなどの恵まれた地域資源を活かしたまちづくりにも取り組んでまいります。

特別会計

国民健康保険特別会計は、共同事業拠出金の伸びにより増額、介護保険特別会計は、介護サービスなど保険給付費の伸びにより増額、公共下水道事業特別会計は、長寿命化計画による下水道建設費の縮小により減額、簡易水道事業特別会計は、配水池改修工事により増額、後期高齢者医療特別会計は、保険給付費が減ったため減額となりました。

5つの特別会計を合わせた予算総額は38億6362万2千円となり、前年度からみて3・8%の増額となりました。

水道事業会計

水道事業会計は、収益的収支が3億2709万7千円で、営業外収入の増により対前年度1・3%の増額となりました。

資本的支出は1億8276万2千円で、水道硬水対策事業の減により対前年度53・2%の減額となりました。



一般会計の主な事業

議会費

7441万円

◆議会広報事業（年4回発行）
……131万円

総務費

3億2987万円

◆公共施設撤去事業……230万円
◆公共施設LED整備事業……822万円
◆公有財産購入事業……730万円

民生費

14億2960万円

◆福祉灯油給付事業……253万円
・老人、重度心身障害者、ひとり親世帯等の生活困窮者に対する灯油の助成

◆乳幼児等医療費助成事業……1140万円
・中学生以下の医療費助成（無料化）経費

衛生費

4億5033万円

◆救急診療体制等支援事業……2300万円
・洞爺協会病院の救急診療体制等を支援するための補助

◆各種健診事業……1958万円
・基本健診、結核・がん、妊産



3万円以上の寄附の方への返礼特産品（あか毛和牛）